第４回　橋本市都市計画審議会専門委員会及び

橋本市都市計画マスタープラン等策定検討委員会　議事録(抜粋)

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名称 | 第４回　橋本市都市計画審議会専門委員会及び橋本市都市計画マスタープラン等策定検討委員会 |
| 日　　時 | 令和3年12月24日(金)　午後1時30分～ |
| 場　　所 | 橋本市役所　3階　委員会室 |
| 出 席 者 | 委員(敬称略) | 〇橋本市都市計画審議会専門委員濱田　學昭　　平家　利也　　　乾　　幸八　　板橋　真弓　杉村　春美〇橋本市都市計画マスタープラン策定検討委員会濱田　學昭　　葛原　芳秀　　西山　恵三　　池田　和夫　　大原　康平　　向井　景子　　房本　恵　　　 栄迫　仁志　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【出席委員　12名】 |
| 公開状況 | 公開 |
| 傍 聴 者 | なし |
| 次　　第 | 1．開　　会2．報告事項　「第2回都市計画タウンミーティング（マスタープラン策定ミーティング）」の開催結果について3．協議事項 「第3回都市計画タウンミーティング（マスタープラン策定ミーティング）」の開催について4．その他　現況データの追加・修正について5．閉　　会 |
| 資　　料 | ・「第2回都市計画タウンミーティング（マスタープラン策定ミーティング）」開催結果について・「第3回都市計画タウンミーティング（マスタープラン策定ミーティング）」開催概要・橋本市の「街、市街地、土地利用について考える」・橋本市10年間の変容、及び都市間比較資料 |

**○委員長挨拶**

お久しぶりでございます。コロナの関係で日程がかなり空いてしまいました。今回、都市計画マスタープラン策定に当たって、策定委員会でいろいろご議論いただいたことを中心にマスタープランの大きな骨組みとして考えていくというふうに考えておりますので、活発なご意見をいただきたいと思っております。

**〇報告事項について**

10月23日(土)に開催した「第2回都市計画タウンミーティング（マスタープラン策定ミーティング）」について、資料をもとに結果報告を行いました。

**○協議事項について**

　第2回に引き続き、第3回の都市計画タウンミーティングを開催するため、資料にもとづき開催の概要について説明を行いました。第3回は、これまでのタウンミーティングにおいて、もっと参加者側の意見を聞く場を設けてほしいという声があったことから、主催側と参加者側が同じ立場で話せる意見交換の時間を中心に設定を行う予定です。

　その中で、意見交換を行うテーマについて委員の皆様に議論をいただきました。

　また、議論に先立ち、濱田委員長より資料に基づき都市計画に関する説明がありました。

**≪意見等≫**

・今回テーマを決めるとあるがグループを分けてワークショップのような形で行うのか。

　→グループワークとなると最後に発表などの時間を取らねばならず、意見交換に十分な時間を

取れないなどが考えられることから参加者全員で一つのグループとしたい。

・様々な年代の人が暮らしやすいまちづくりは重要になってくると思う。例えば高齢者については

免許返納者は一定の条件が整った暮らしやすいマンションに住める。例えば市営住宅をリノベー

ションして整備する。若者については、自分たちで市内の空き地などを整備して自分たちの好き

な公園に変えていく。そういったところで企業と協力をしていく。授業にも組み込んでいくなど。

・高齢者の方に、不便な地域から便利な地域に移っていただいて、もともと住んでいた広い土地と

家に若者世帯や県外からの移住者などに住んでもらうといった住み替えのようなこともできると

いいかもしれない。

・廃校を利用して、高齢者の方が複数人で共同生活を行っているという事例を見たことがある。

・廃校の半分を民宿などにして、そこの厨房で食事を作ってもらうといったような民間との連携を行

えば、食事を作れない高齢者の方々でも入ってもらうことができるし、差別化もできる。

・今、旧信太小学校の敷地の利活用が始まっていたと思うが。

　→グラウンドでキャンプ場が先立ってオープンしており、最近校舎内を利用してコワーキングスペ

ースが開設されている。

・ミーティングを活発化させるには、何らかの案を出して代案をもらうといったことをしなければいけ

ないと思う。その中で、議論をしたほうがいいと思うのが、以前から委員会の中で挙がっていた

都市核について。これまで長計では市内各駅前や市役所周辺を地域の核としていくという話であ

ったが、例えばその核にはどんなものが必要かといったことを聞いてみる。

または、今橋本駅前は市街地再開発がとん挫してしまった状況で、活力が失われていると思う

が、公共交通の結節点でもありポテンシャルは持っていると思う。であれば、橋本駅前に都市核

を作るとしたらどういったものを作るのか、くらい冒険的な議論をしてもいいのでは。

個人的には市役所の移転やそれに合わせて図書館も駅前に、なども考える。

・橋本市に居住地が散在しており、高低差も大きい橋本市では自動車交通が必要不可欠であると

いう前提で、何が必要かということも聞いていく必要はあるのでは。

・橋本駅前は橋本市の歴史上確かに重要な土地ではあるが、今の自動車社会を考えたときに昔

のように活力を取り戻すことが本当にできるのか。なんといってもスペースが狭すぎる。中心核を

作るとしても駅前以外のほうがいいのではと感じる。

・大きな建物を建てるには建物だけではなくてそこに接続する道路も整備する必要があるため思

った以上に広い土地が必要になる。駐車場なんかもいる。例えば市役所周辺をシビックゾーンと

して定義しているが、現在シビックゾーンとしての整備はほとんどされていない。行政の施設が集

まっているからそう呼んでいるだけで、市民が暮らしやすい、文化施設などがそろうことが重要。

本来都市核ということを議論する場合、どういった街にしたいからどのような場所にどういった核

を作るのか、という話にならなければいけない。そこが表に出てこないから市民に不信感が生ま

れる。

・核とは逆の意味になるが、ハザードマップなどの浸水地域との兼ね合いで、その地域から移転し

なければならないというようなことも並行して考えていかないといけないことだと思う。

・喫緊の課題は将来ビジョンがないこと。しっかり考えて、煮詰めて、実現に向けた道筋をつけたも

のを作らなければならない。

・現在の公共交通は目的地から迎えに行くという交通ばかりな気がする。行きたい人がそこへ行く、

という交通が公共交通にはない。人の少ない地域のバスなどがどんどん減っていっている。その

問題の解決を何か考えなければいけない。

・高齢者の問題を解決するにあたって、スマホの活用といったことは積極的に考えていかなけれ

ばいけないと思う。

・少し話している内容が広すぎて、今回の議題の趣旨とずれてきている気がする。ミーティングで

話すテーマを決めるといったことだったはず。

・マスタープランの策定にあたっては、長期総合計画と整合性をとって作っていくということになっ

ていたかと思う。今話に挙がっている中心拠点の話などは長計と調整を取りながら進める必要

があると思うが、今ちょうど長計も見直しをしている最中であって、マスタープラン側だけで勝手

に決められないことでもあるので難しいところだと思う。

・タウンミーティングに参加する側としたら、何を話したらいいのか、またどうなったら終わりなのか

といった終着点が見えてないと議論しにくいと思う。また、大勢の中で積極的に話をするのは難

しい人もいると思うので、できるのであればいくつかのグループに分けて、先ほどから話題に出

ている核の話、例えば図書館が欲しいだとか高齢者用のマンションがここにあればだとかといっ

た話をしてもらったらいいのではないかなと思う。せっかくタウンミーティングに参加するのであれ

ば何か結果を出して帰ってもらいたいと思うので、そういったものも考えてもらいたい。

・テーマとしては、都市核を中心に土地利用やその誘導といった観点が一つ重要かと思う。

・テーマ候補案の中の５、鉄道駅周辺における市街地の形成といった観点は大事だと感じる。ま

た、昭和・平成初期頃に開発されて高齢化が進んでいるニュータウンの再生などの分野につい

ても取り上げていきたい。

・まず第一に橋本市がどういった形で発展していってほしいのか、そこを聞きたい。それがあってこ

そ、整備するための都市核が定まるし他のすべてのものはそれを中心に動いていく。

・土地利用について、どう使うかを決めてたとしても、使いたい人が使いたいように使えないことが

多々あるので、そこをスムーズにできるような体制や法整備などがないとうまくいかないところが

あると思う。

**≪結果≫**

タウンミーティングでのテーマとしては、１）土地利用、２）交通、３）市街地の形成　を採用することに決定しました。

**〇その他事項について**

　前回の委員会で説明をさせていただいた「１０年間の変容」という資料について委員の皆様から頂いていたご質問についての補足や修正について、資料をもとに説明させていただきました。

**≪意見等≫**

・観光入込客については、どの施設にどれだけといった内訳はわかるのか。

　→ある程度はわかると思うが本日はデータを用意していないため後日説明。

・最後の都市構造については、五條市や河内長野市も追加をしてほしい。